

大学院理工学研究科技術部の組織・活動報告

中村 喜寛

鹿児島大学大学院理工学研究科技術部

1. はじめに

大学院理工学研究科技術部は、ここ数年で多くの職員が定年退職などにより離職した。新規採用者が増えた事で、本技術部の雰囲気も大きく変化し、非常に活気に溢れてきた。

今回は、近年の本技術部の組織構成や活動の近況について簡単に報告する。

2. 技術職員数の推移

令和6年2月現在の本技術部の構成員数は、男性20名、女性5名の合計25名（再雇用職員2名、理学系職員1名を含む）であり、年齢構成としては60代2名、50代2名、40代6名、30代9名、20代2名となっている。10年前の平成26年度の構成員数（26名）及び男女比と比較して、大きな変化は見られない。

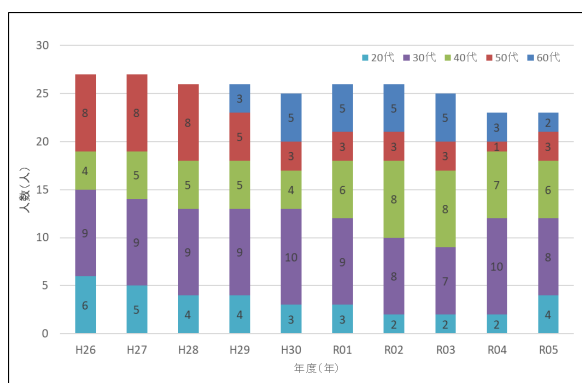


Fig. 1 職員の年齢構成の推移

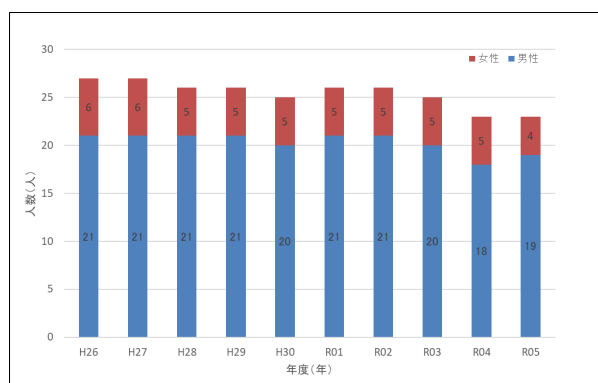


Fig. 2 職員の男女比の推移

3. 技術部関連規則について

技術部活動に関しては、主に以下の規則に基づき活動している。

- ・ 鹿児島大学大学院理工学研究科技術部組織規則
- ・ 鹿児島大学大学院理工学研究科技術部管理運営委員会規則
- ・ 鹿児島大学大学院理工学研究科技術部業務実施委員会規則
- ・ 鹿児島大学大学院理工学研究科技術部業務依頼に関する規則
- ・ 鹿児島大学大学院理工学研究科技術部の工学専攻技術職員の業務に関する申合せ
- ・ 鹿児島大学大学院理工学研究科技術部ワーキンググループに関する要項
- ・ 鹿児島大学大学院理工学研究科技術部技術グループに関する要項

4. 業務内容について

技術職員の業務は、職員によって様々であるが、大きく研究支援、教育支援、運営支援、技術部運営に分類される。また、これらの業務は支援期間によって、長期支援、短期支援、臨時支援に分けられる。業務依頼については、原則、業務依頼システムより申請して貰い、総括技術長が担当者を指名するフロートになっている。

(1) 研究支援

実験補助、実験データの処理、実験装置の設計製作、実験装置・計測機器の維持管理・操作

(2) 教育支援

工学実験・実習等の指導・補助、設計製図等の指導・補助、実験装置・試験片・試料の作製等、修論・卒論研究に関する技術相談、実験装置の設計製作の指導、試験監督補助

(3) 運営支援

入試業務補助、JABEE 関連業務補助、学生就職指導業務補助、薬品等の管理補助、実験排水の採水、理工学研究科・学部の各種サーバの保守・管理、理工学研究科工学系共通の施設・設備の維持管理、各工学系前期課程専攻共通の施設・設備の維持管理、地域コトづくりセンターの施設・設備の維持管理・営繕業務

(4) 技術部運営

ワーキンググループ活動（地域連携活動やスキルアップ他）、技術グループ活動（グループ研修や勉強会他）、大判プリンタの出力対応、奨励研究申請など

5. おわりに

今回、近年の本技術部の組織構成や活動の近況について簡単に報告した。詳細については、本技術部ホームページに掲載してある活動報告書（毎年発刊）にて確認していただきたい。

本技術部は、ここ数年で 10 名前後の退職者・新規採用者があり、メンバーの入れ替わりが大きく進んだ。今後の採用については未定であるが、退職予定者からの技術伝承及び新規採用者の育成・スキルアップやキャリアパスについては、喫緊の組織的検討課題と考える。

また、以前から本学でも全学技術部について色々と議論・検討がなされてきたが、具体的な動きはない。方向性については不明であるが、全学技術部組織化の可能性を踏まえ、全学の技術組織ワーキンググループでの情報共有や技術部間の連携を進める等、全技術職員が検討・準備していく必要がある。